



地球上すべての人びとに平和に生きる権利を

9条地球憲章の会 第26回 公開研究会

ジャーナリスト

志葉 玲さんの講演

ウクライナ現地取材から考える日本国憲法



志葉 玲 (しば れい)

1975年、東京都出身。番組制作会社をへて、環境、平和、人権をテーマにフリーランスジャーナリストとして活動。イラクやパレスチナ等の中東での紛争地での現地取材や、地球温暖化等の環境問題、日本の難民認定率の低さや収容施設での人権侵害等の入管問題などについて記事執筆や解説等を行ってきた。Yahoo! ニュース個人公式ライターで、閲覧ランキングで上位常連。今年4月にウクライナでの現地取材を敢行。TBS「news23」や東京新聞などで、取材報告を行った。

著書に『たたかう！ ジャーナリスト宣言ーボクの観た本当の戦争』(社会批評社)、『13歳からの環境問題:「気候正義」の声を上げ始めた若者たち』(かもがわ出版)、『難民鎖国ニッポン: ウィシユマさん事件と入管の闇』(かもがわ出版)、共著に『イラク戦争を知らない君たちへ』(あけび書房)、『原発依存国家』(扶桑社新書)など。

2022年

5月14日 (土) 午後7時~9時半

オンライン ZOOM による開催 参加無料
事前申し込み

ウクライナ現地取材から考える日本国憲法

I ウクライナ現地取材報告

1. ウクライナとはどんな国?
2. 何故、戦争は始まった?
3. 首都キーウ、状況は改善? 市民の生活は?
4. 虐殺の地ブチャ、許されない戦争犯罪
5. 激戦地ハルキウ、降り注ぐロケット弾

II ウクライナ現地から見る日本での論争

1. 当事者頭越しでの「交渉しろ」の傲慢
2. ネットに蔓延する陰謀論
3. 火事場泥棒的な「改憲論」を許すな

III ウクライナや世界の平和のために何ができる?

1. ロシアの天然ガスや石油に依存しない社会を
2. ウクライナ危機でより重要となった9条
3. 「護憲」だけではなく「活憲」が必要

お申し込み方法 (お申し込み期限: 2022年5月13日(金) 23時59分)

下記の申込フォームに必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/Rv21mCgHw5x9iA1T7>

お申込みが完了すると、確認メールが届きます。

申込フォームへの入力ができない場合に限り、メールでのお申込みを承ります。メールの件名を「5月14日参加」とし、本文に氏名・フリガナ・メールアドレス(以上必須)・ご所属(任意)を明記して、9条地球憲章の会事務局(9.globalpeace@gmail.com)宛に、メールをお送りください。

お申込時に入力して頂いたアドレス宛に、5月14日(土)正午までに、Zoom接続に関するご案内と研究会の配布資料をお送りします。



連絡先 9条地球憲章の会事務局 9.globalpeace@gmail.com

HP <https://www.9peacecharter.org/>

FB <https://www.facebook.com/9peacecharter/>